

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月17日

計画の名称	秋田市街地の渋滞緩和と公共交通の円滑な運行を支援する街路整備												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	秋田市												
計画の目標	秋田市街地における骨格道路の整備により、市内の渋滞を緩和し、交通の円滑化及び公共交通（路線バス）の定時性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,651	A	5,651	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	①骨格道路（環状道路・分散導入路）の整備率の向上 ①秋田市内の都心部・市街地・外周部の3環状道路とそれらを結ぶ分散導入路を担う当路線の整備率。 Σ骨格道路整備延長/Σ骨格道路延長×100%	34%	42%	52%
2	②公共交通（路線バス）の定時性の向上 ②街路整備により定時性が向上したバス路線数を算出する。 Σ道路整備をしたバス路線、またはそれと平行するバス路線のうち、定時性が向上したバス路線数	0路線	0路線	3路線

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	S街路	改築	泉外旭川線	道路新設 L=0.6km	秋田市	■	■	■	■	■	4,283		—
	A01-002	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	S街路	改築	外旭川新川線（寺内）	道路新設 L=0.7km	秋田市	■	■	■	■		1,368		—
											小計						5,651		
											合計						5,651		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

秋田市において、目標の達成状況と指標の達成状況を確認。

事後評価の実施時期

令和2年1月

公表の方法

秋田市のホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

外旭川新川線（寺内）の整備により、渋滞緩和による交通の円滑化が図られ、公共交通（バス）の定時性向上等に貢献できた。また、寺内地区の住宅地から通過交通が排除でき、歩行者・自転車利用者の安全性の向上が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

外旭川新川線（寺内）の整備により、主要渋滞交差点2か所において朝夕ピーク時の流入速度が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	骨格道路（環状道路・分散導入路）の整備率の向上	
	最終目標値	52%
	最終実績値	52%
2	公共交通（路線バス）の定時性の向上	
	最終目標値	3路線
	最終実績値	3路線